

セクション 1：化学物質特定名および会社識別情報**製品特定名**

製品形態

: 混合物

品名

: Real Cool Snoop

化学品の推奨用途と使用上の制限

化学品の用途

: 外面のみへの使用を目的とする漏れ検出液。最適使用温度は-54°C~93°C。専門家の使用に限る。

安全データシート供給者の詳細**社名/製造業者名**

Swagelok Manufacturing Company, LLC

29495 F.A. Lennon Drive

Solon, Ohio 44139

440-519-4000

www.swagelok.com**緊急電話番号**

緊急電話番号

: Infotrac: 1-800-535-5053

セクション 2：危険有害性情報**化学物質または混合物の分類****GHS-JP 分類**

人の健康に対する有害な影響

- : 急性毒性（吸引: 粉塵、液滴）カテゴリ-4
- : 皮膚腐食性/皮膚刺激 カテゴリ-2
- : 目への重大な損傷/目の刺激 カテゴリ-2
- : 特定目標臓器毒性（単一暴露）カテゴリ-1
- : 特定目標臓器毒性（単一暴露）カテゴリ-3、昏睡
- : 特定目標臓器毒性（単一暴露）カテゴリ-3、気道への刺激

ラベル要素

危険性の絵文字（GHS-JP）



信号語（GHS-JP）

: 危険性

危険性の表示（GHS-JP）

- : 皮膚刺激性（H315）。
- 重篤な眼刺激を引き起こす（H319）。
- 吸入すると有害（H332）。
- 呼吸器への刺激を起こす場合がある（H335）。
- 眠気やめまいを起こす可能性がある（H336）。
- 臓器への障害を起こす（呼吸器系、心臓、腎臓、中枢神経系）（H370）。

防止上の注意事項

- : 蒸気、ミスト、またはスプレーを吸入しないこと（P260）。
- 取り扱い後は手、前腕、顔をよく洗うこと。（P264）。
- 本製品使用中は、飲食、喫煙をしないこと。（P270）。
- 屋外、または換気の良いエリアでのみ使用すること。（P271）。
- 保護用手袋、保護用衣服、保護メガネを着用すること（P280）。

対応上の注意事項

- : 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗い流すこと。（P302+P352）。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態に保つこと（P304+P340）。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズ着用の場合、取り外しやすければ取り外すこと。洗浄を続けること。（P305+P351+P338）。
- 暴露または暴露の懸念がある場合: 毒物センターまたは医師に連絡すること。（P308+P311）。

Real Cool Snoop

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 準拠

具合が悪い場合は、毒物センターまたは医師に連絡すること。
(P312)。

具体的な対処方法 (本 SDS のセクション 4 を参照) (P321)。
皮膚に炎症が起きた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
(P332+P313)。

眼への刺激が収まらない場合: 医師の診断/手当てを受けること。
(P337+P313)。

汚染された衣服を脱ぎ、再度着用する前に洗濯すること。
(P362+P364)。

保管上の注意事項 : 換気の良い場所に保管すること。容器はしっかり締めておくこと。
(P403+P233)。

廃物処理上の注意事項 : 鍵をかけて保管すること。(P405)。
: 現地、地域、国や国際規制に従って、内容物や容器を廃棄すること
(P501)。

その他の危険有害性

結果として分類されないその他の危険有害性 : 暴露により眼、皮膚および呼吸器の既往症の状態が悪化する可能性がある
ある。

セクション 3: 組成/成分情報

物質または混合物の区別 : 混合物

名称	濃度	化学式	ガゼットリストの参照番号		CAS-No.
			CSCL No	ISHL No	
エチレン・グリコール	< 60	C2H6O2	(2)-230	(2)-230	107-21-1

セクション 4: 応急措置

応急措置の説明

応急措置 - 一般 : 意識のない人の口には何も与えないこと。気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受けること (できればラベルを見せる)。

応急措置 - 吸入した場合 : 症状が出た場合、新鮮な空気のある場所に移動し、漏洩が疑われる場所を喚起すること。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で安静にすること。医師の診断/手当てを受けること。

応急措置 - 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服を脱がせること。該当箇所を直ちに大量の水で 15 分間以上洗うこと。炎症が出た場合や続く場合は、医師の診察を受けること。

応急措置 - 眼に入った場合 : 直ちに水で 15 分間以上洗うこと。コンタクトレンズ着用の場合、取り外しやすければ取り外すこと。洗い続けること。炎症が出た場合や続く場合は、医師の診察を受けること。

応急措置 - 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。

応急処置をする者の保護および保護措置 : 呼吸器の保護具を含む適切な保護具なしで火災区域に入らない。

最も重要な急性と発症の遅い症状/影響

症状/影響 : 呼吸器への刺激を起こす場合がある。眠気やめまいを起こす可能性がある。臓器 (呼吸器系、心臓、腎臓、中枢神経系) に障害を起こす。皮膚への刺激を引き起こす。重篤な眼刺激を引き起こす。吸引すると有害。

吸入後の症状/影響 : 吸入すると、刺激、呼吸困難、意識喪失などの健康への悪影響を引き起こす可能性がある。濃度が高い場合、めまい、嘔吐、しびれ、眠気、頭痛などの麻痺性の中枢神経系の抑制を引き起こす可能性がある。

皮膚に触れた後の症状/影響 : 発赤、痛み、腫れ、かゆみ、灼熱感、乾燥、皮膚炎。

眼に入った後の症状/影響 : 接触により、結膜の発赤や腫れを伴う重度の炎症を引き起こす場合がある。

飲み込んだ後の症状/影響 : 中枢神経系の機能低下、頭痛、めまい、眠気、動作協調性障害。腎臓損傷が発生する可能性がある。筋肉麻痺、呼吸不全、肺水腫、不整脈、血液中的カリウム欠乏など、心血管系および呼吸器系に影響を与える可能性がある。

慢性症状 : 通常の使用条件下では、一切想定されていない。

Real Cool Snoop

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 準拠

必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断、手当を受けること。医師の診断が必要な場合は、製品の容器またはラベルを手元に用意すること。

セクション 5：火災時の措置

消火剤

適切な消火剤 : 水のスプレー、霧、二酸化炭素 (CO₂)、耐アルコール性泡、または乾燥薬品。

使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しないこと。強い水流は火災を拡大させる可能性がある。

化学品から生じる特定の危険性

火災の危険 : 可燃性とは見なされないが、高温で燃焼する可能性がある。

爆発の危険 : 本品は爆発性ではない。

反応性 : 通常の使用条件下では、危険な反応が生じることはない。

消防士用の特別な防具と予防措置

火災時の予防措置 : 化学火災に対処する時は注意すること。

特有の消火方法 : 暴露された容器を冷却する際は、水のスプレーまたは霧を使用すること。

消火を行う者の保護 : 呼吸器の保護具を含む適切な保護具なしで火災区域に入らない。

危険有害燃焼生成物 : 酸化炭素（一酸化炭素、二酸化炭素）。鼻をつくような煙と刺激性の煙。

セクション 6：漏出時の措置

人への予防措置、防具、および応急処置法

一般的な措置 : 蒸気、ミスト、またはスプレーを吸入しないこと目、皮膚、衣類への接触を避けること。

二次的事故の予防措置 : 対象区域を換気すること。裸火、スパーク、喫煙を避けること。発火源を除去すること。

非緊急事態要員に対して

保護具 : 適切な個人用保護具 (PPE) を使用すること。

応急処置法 : 不要な人員を避難させること。

緊急事態要員に対して

保護具 : 清掃要員に適切な保護具を使用させること。

応急処置法 : 緊急事態要員には、現場に到着後、危険物の存在を認識し、自身と他の人々を保護し、現場の安全を確保し、事態に応じて訓練を受けた人員の援助を要請することが期待される。対象区域を換気すること。

環境上の予防措置

下水道や公共水域への侵入を防ぐ。

封じ込めと流出物洗浄の方法および用具

封じ込めの方法 : 溝を作るか、吸収材に吸収させて飛散物を封じ込め、下水道や水路への移動および侵入を防ぐ。直近の予防的措置として、全方向で飛散物や漏れを隔離すること。対象区域を換気すること。

洗浄方法 : 直ちに飛散物を清掃し、廃棄物を安全に廃棄する。飛散物を適切な容器に移し、廃棄する。飛散後、所管官庁に連絡する。

他のセクションの参照

「セクション 8：暴露制御および保護措置」および「セクション 13：廃棄上の注意」を参照。

セクション 7：取り扱い及び保管上の注意

安全な取扱のための予防措置

安全な取扱のための予防措置 : 飲食や喫煙前、および作業現場から離れる際には、必ず低刺激性石鹼と水で手および取扱物質と接触した身体の各部位を洗うこと。蒸気、ミスト、スプレーを吸入しないこと眼、皮膚、衣服との接触を避けること。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

衛生対策 : 適切な産業衛生および安全上の手順に従って取り扱うこと。

混触危険性を含む、安全な保管条件

技術的措置 : 適用される法律に従うこと。

Real Cool Snoop

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 準拠

保管条件 : 使用時以外は、容器を閉じること。乾燥した冷所に保管すること。直射日光、極端に高い温度や低い温度、混触危険物質を避けて保存/保管すること。施錠し、安全な場所に保管すること。

混触危険物質 : 強酸、強塩基、強酸化剤。
パッケージング、容器に使用される材質 : 元の容器に入れて保管すること。

特定の最終用途

外面のみへの使用を目的とする漏れ検出液。最適使用温度は-54°C~93°C。専門家の使用に限る。

セクション 8 : 暴露制御および保護措置

管理パラメーター

エチレン・グリコール (107-21-1)

USA ACGIH	ACGIH TWA (ppm)	25 ppm (蒸気分率)
USA ACGIH	ACGIH STEL (mg/m ³)	10 mg/m ³ (吸入可能な粒子状物質、エアロゾルのみ)
USA ACGIH	ACGIH STEL (ppm)	50 ppm (蒸気分率)
USA ACGIH	ACGIH 化学薬品カテゴリー	ヒト発がん性として分類不可

生物学的限度値 データなし

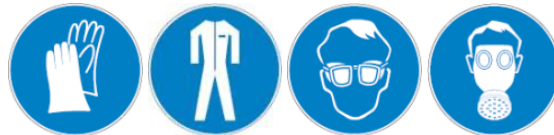
暴露制御

適切な工学的管理方法

: 暴露の可能性のある区域のすぐ近くに緊急洗眼器および安全シャワーステーションを設置する必要がある。密閉区域 (閉所) では特に、十分な換気を確認すること。国および地域の規制すべてに従っていることを確認すること。毒性ガスが発生する場合は、ガス検知器を使用すること。

個人用保護具

: 手袋。防護服。保護眼鏡。換気が不十分な場合: 呼吸器の保護具を着用すること。



防護服の素材

: 耐薬品性の素材および生地。

手の保護

: 保護手袋を着用すること。

眼および顔面の保護

: 化学物質対策用の保護眼鏡。

皮膚および身体の保護

: 適切な防護服を着用すること。

呼吸器の保護

: 暴露限度を超えた場合や、炎症が生じた場合は、承認された呼吸保護具の装着が必要。換気が不十分な場合や、酸素欠乏状態の場合、もしくは暴露限度が不明な場合は、承認された呼吸保護具を装着すること。

熱危険に対する保護

: データなし。

その他の情報

: 使用中は、飲食または喫煙しないこと。

セクション 9 : 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态	: 液体
外観	: 無色
臭い	: 無臭
臭気閾値	: データなし
pH	: 6-7.5
蒸発速度	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: 387 °F (197.22 °C)
引火点	: > 230 °F (110.00 °C) クローズドカップ方式
自然発火温度	: データなし

Real Cool Snoop

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 準拠

熱分解温度	: データなし
火炎燃焼性 (固体、気体)	: 指定不可
蒸気圧	: データなし
20°C での相対蒸気密度	: データなし
相対密度	: 1.1 g/mL
溶解度	: 水溶性。
分配係数: N-オクタノール/水	: データなし
粘度	: データなし
爆発限界	: データなし
その他の情報	
Voc コンテンツ	: < 1 %

セクション 10: 安定性及び反応性

反応性

通常の使用条件下では、危険な反応が生じることはない。

化学的安定性

推奨されている取扱いおよび保管条件下では安定 (セクション 7 を参照)。

危険有害反応可能性

危険な重合は生じない。

避けるべき条件

直射日光、極端に高い温度や低い温度、混触危険物質。

混触危険物質

強酸、強塩基、強酸化剤。

危険有害な分解生成物

通常の使用条件下では、一切想定されていない。

セクション 11: 危険性情報

毒性に関する情報

急性毒性 (経口)	: 区分外
急性毒性 (経皮)	: 区分外
急性毒性 (吸入)	: 吸引すると有害。

Real Cool Snoop	
ATE JP (ほこり、ミスト)	2.5 mg/l/4h
エチレン・グリコール (107-21-1)	
LD50 経皮ラット	10600 mg/kg
ATE JP (ほこり、ミスト)	1.5 mg/l/4h

皮膚腐食性/刺激性	: 皮膚への刺激を引き起こす。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 重篤な眼刺激を引き起こす。
呼吸器感作性または皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分外
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 臓器 (呼吸器系、心臓、腎臓、中枢神経系) に障害を起こす 眠気やめまいを起こす可能性がある 呼吸器への刺激を起こす場合がある。
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	: 区分外
吸引性呼吸器有害性	: 区分外
その他の情報	: 区分外

Real Cool Snoop

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 準拠

セクション 12：環境影響情報

毒性

水生環境有害性（急性）：区分外
水生環境有害性（慢性）：区分外

エチレン・グリコール（107-21-1）

LC50 魚類 1	41000 mg/l（暴露時間：96 時間 - 種：オンコリンクス・マイキス）
EC50 ミジンコ 1	46300 mg/l（暴露時間：48 時間 - 種：ミジンコ）
LC50 魚類 2	14 - 18 ml/l（暴露時間：96 時間 - 種：オンコリンクス・マイキス [静的]）
NOEC 慢性甲殻類	4.2 mg/l

残留性および分解性

Real Cool Snoop

残留性および分解性：未確定。

生物蓄積性

Real Cool Snoop

生物蓄積性：未確定。

エチレン・グリコール（107-21-1）

N-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)：-1.93

土壤中の移動性 データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性：区分外
その他の情報：環境への放出を避けること。

セクション 13：廃棄に関する注意事項

廃棄方法

現地法規（廃棄物）：法規に従って廃棄すること。
廃棄に関する推奨事項：現地、地域、国や国際規制に従って、内容物や容器を廃棄すること。
その他の情報：容器は空になっても危険性が残留する可能性がある。あらゆる注意事項を引き続き観察すること。
生態系 - 廃棄物：環境への放出を避けること。

セクション 14：輸送上の注意

本書に記載されている輸送に関する説明は、本書が作成された時点での一定の前提に従って作成されたものであり、本書が発行された時点で既知であったかどうかにかかわらず、不確定要素によって異なる可能性がある。

陸上輸送（国連危険物輸送勧告：UNRTDG）輸送規制対象外

航空輸送（国際航空運送協会：IATA）輸送規制対象外

海上輸送（国際海上危険物規程/国際海事機関：IMDG/IMO）輸送規制対象外

MARPOL 付属書 II および IBC Code によるバラ積み輸送 非該当

その他の情報

その他の情報：補足情報なし。

セクション 15：適用法令

適用法令

エチレン・グリコール（107-21-1）

化学物質規制法	優先評価化学物質（法第 2 条第 5 項）
労働安全衛生法	ラベルに名称等を表示すべき有害物質（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号、別表第 9） 届出対象物質（法施行令第 57 条の 2、第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号、別表第 9 号） エチレングリコール（政令番号：75）（）

Real Cool Snoop

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 準拠

消防法	第 4 類 - 引火性液体 - 第 3 石油類・溶解性（法第 2 条第 7 項、別表第 1、第 4 類）
大気汚染防止法	揮発性有機化合物（法第 2 条第 4 項）（環境省都道府県告示）
海洋汚染および海難事故の防止に関する法律	有害液体物 - 区分 Y（法第 3 条第 3 項、施行令第 1 条の 2、別表第 1 号第 2 号） 有害液体物 - 区分 Y に相当するもの（環境省告示） 有害液体物質 - 区分 Z に相当（環境省通知）
外国為替および外国貿易管理法	第 2 号の承認（輸入貿易管理令第 4 条第 1 項第 2 号） 輸出貿易管理令 別表第 1 の 16 号 輸出の承認（輸出貿易管理令別表第 2）
特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律（バーゼル条約）	廃棄物に含まれる有害物質（法令 Cat.2 第（1）条第（i）項（a）、1993 年 3 省令第 2 号）
規制参照情報 米国 TSCA（有害物質規制法）インベントリに掲載 カナダ DSL（国内物質リスト）に掲載 EEC インベントリ EINECS（欧州既存商業化学物質インベントリ）に掲載 カナダ IDL（成分開示リスト）に掲載 米国 SARA313 条の報告義務に該当 EPA 有害大気汚染物質（HAPS）に掲載 AICS（オーストラリア化学物質インベントリ）に掲載 PICCS（フィリピン化学物質インベントリ）に掲載 日本 ENCS（既存・新規化学物質インベントリ）に掲載 KECL/KECI（韓国新規化学物質インベントリ）に掲載 IECSC（中国生産・輸入既存化学物質インベントリ）に掲載 NZIoC（ニュージーランド化学物質インベントリ）掲載 ISHL（日本労働安全衛生法）に掲載 INSQ（メキシコ化学物質国家インベントリ）掲載 TCSI（台湾化学物質インベントリ）に掲載	

セクション 16：その他の情報

作成日または最終改訂日

: 2021/01/25

出典

: 本書は、日本の危険有害性周知基準 JIS Z 7253 および JIS Z 7252 の安全データシートの要件に基づいて作成された文書である。

日本 GHS SDS

本情報は、当社の現状の認識に基づくもので、健康、安全、環境要求事項の参考情報を提供する目的で製品を説明することのみを意図した情報である。したがって、本製品の特定の性質を保証するものと解釈されるべきではない。